

☆共通教育授業報告『共通教育授業「読書コミュニケーションへのいざない」でブックログ使ってみた。』

読書とコミュニケーション。

一見あまり両立しないように思えますが、実はみなさんも知らず知らずのうちに経験しているのでは？

例えば、好きな本の話をしていて盛り上がる、本の趣味が同じだと知って急に親近感がわく、難しい本を何人かで読んでいるうちに内容が理解できるようになる……など。

このようなコミュニケーション型の読書をすることで、読書活動を活発にしたり、教養を深めたりして、多様な価値観に触れることができる授業、それが「読書コミュニケーションへのいざない」です。

総合科学部のいろんな専門分野の先生方と図書館職員とがコラボして、今年度から開講しました。

シラバスへのリンク

これまでの授業では、先生が持ってきた本の中から1冊を選んで20分ほど読んだ後で内容をお互いに紹介し合ったり、図書館の使い方を学んだり、カフェで3色ボールペン読書をしたり、といろんな読書コミュニケーションを行ってきました。

そうした試みの一つとして、図書館職員が先日の授業で紹介したのが、「ブックログ」です。

ブックログというのはウェブ上に本棚を作るサービスで、本の感想を記録したり他の本棚に感想を書いたりすることができるものです。インターネットならではの、新しい読書コミュニケーションのツールです。

ブックログとは→ <http://booklog.jp/>

今回、私たちの授業のブックログには、教員と、学生さんがそれぞれ3冊程度の書評を登録しました。そのため、いろんなジャンルの本が紹介されていて、それを見た学生さんたちにとっては普段読まない本を読むきっかけになりそうです。また、「読んで欲しい」という思いが書評に込められているので、いっそう本への興味が増すだろうと思います。

“このブックログを授業の中だけで展開しているのはもったいない”、ということで、図書館でも展示することにしました。

その名も「共通教育授業『読書コミュニケーションへのいざない』でブックログ使ってみた。」

いわばリアル「ブックログ」本棚です。

展示の様子



実際、展示をしてからすぐに、普段あまり貸出されない本が何冊も借りられていますので、“リアル本棚、効果アリだな”、と感じています。

今後、この授業では、ビブリオバトルなど、さまざまな読書コミュニケーションを体験していきます。後期も開講しますので、興味のある方はぜひ受講してみたいはいかがでしょうか？

[メールマガジン「すだち」第113号本文へ戻る](#)

【すだち】徳島大学附属図書館報 第113号
〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館
Copyright (C) 国立大学法人 徳島大学附属図書館
本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します
